

# 野崎家のお雛様展

平成22年1月26日(火)~4月4日(日)

## 児島雛めぐり お雛同窓会

(特別公開：野崎家別邸たいかどう)

平成22年2月20日(土)~3月7日(日)

〒711-0913 岡山県倉敷市児島味野1丁目11-19

国指定重要文化財 旧野崎家住宅

開館時間/9:00~16:30 (17:00閉門)

休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料/：大人/500円 小中学生/300円

※高校生以下は、毎週土曜日・日曜日・祝日は無料

TEL (086) 472-2001

FAX (086) 472-2636

# 「野崎家のお雛様展」のご案内

旧野崎家住宅では、下記にて、毎年恒例のお雛様展を開催いたします。

## 記

1. 会 期 : 平成22年1月26日(火)～4月4日(日)  
開館時間 / 9:00～16:30(17:00閉門)  
休 館 日 / 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
2. 場 所 : 旧野崎家住宅
3. 展 示 品: 享保雛(江戸時代後期に野崎武左衛門が岡山八代目藩主池田慶政侯より拝領した内裏雛) 明治期の古今雛(作者:大木平蔵・永徳斎)・明治天皇雛・押絵雛・立雛・芥子雛及び雛道具など約200点余り

享保雛:江戸時代中期、享保(1716～1736)年間に流行した大型の雛。時代は享保に限っているわけではなく、この形式をそう呼び習わし、明治になっても制作販売されている。町家で多く飾られ大型のものが多い。金襴や錦で出来た衣裳をつけ男雛は太刀をさし、しゃくを持ち、女雛は冠をかぶり五衣、唐衣と呼ばれる着物を着て檜扇を持っている。金襴とは錦地に斜文組織で模様を織り、模様部に緯(よこ)に平金糸を織り込んだもの。野崎家に伝わるものは、高さおよそ70センチ、冠まで入れますと80センチほどになります。顔は下から見上げると微笑んで見え、気品あふれるお雛様です。雛人形研究家藤田順子先生によると「人形の大きさと保存状態の良さでは、全国でも他にあまり残っていない貴重な人形」とのことです。

大木平蔵:安永年間(1772～81年)に京都四条堺町で創業(当主は代々大木平蔵を名乗っており現在の当主は第7代)、江戸時代から現在まで続く雛人形のお店で、その作品のすばらしさから宮中や大名家でも愛され、谷崎潤一郎の小説「細雪」のなかにも登場する老舗。

4. お雛様展の期間中は向座敷にて抹茶接待(有料400円)があります。

## 野崎家別邸 迨暇堂にて「おひな同窓会」開催

通常非公開である別邸、迨暇堂(たいかどう)の百畳の座敷に、雛人形約30組を一般家庭より持ち寄って展示します。

- 開催期間 : 平成22年2月20日(土)～3月7日(日) 限定16日間  
この期間の月曜日は、休みません  
開館時間 : 9:00～16:30 (閉門17:00)  
入館料 : 無料。ただし、旧野崎家住宅への当日入館者に限りです。  
(入口で入館チケットを確認させていただきます)

★「おひな同窓会」お問い合わせ: 児島雛めぐり実行委員会(児島商工会議所内)  
086-472-4450